
英雄伝

零物質

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

英雄伝

【Nコード】

N4526F

【作者名】

零物質

【あらすじ】

ごく普通の人間「御手洗」はある謎の1通の手紙を受け取る。そして翌日、手紙の主「ヒートバン連合部隊」に誘拐された。はたしてヒートバン連合部隊の目的とは・・・！？

この物語は、太陽系全体までもを巻き込んだ前代未聞の大大大事件です。

この事件はある一通の手紙がきっかけだった。

舞台は2009年12月30日。

御手洗お宅

御手洗「よしっ！第4ステージクリア！ああすっきりだ！やっぱゲームサイコー！」

御手洗「ああ、手疲れたから外に行こう。」

ガチャッ

御手洗「ああ、やっぱ外は気持ちいいー！」

御手洗「そーいやあ、ポストの中見てねえなあ」

御手洗「んお？何この手紙？」

>「あなたはせかいだいひょうにえらばれましたいえからはなれな
いでください」

御手洗「読みにくいなあ、点も丸もないじゃないか。しかも全部平
仮名やし。」

御手洗「この内容意味不。こういうのは捨てるべし！」

クシャクシャ ポイツ

御手洗「ポテチポテチ・・・、あったあった！」

このとき、御手洗は全く気付きませんでした。太陽系の滅亡の予告
に・・・。

そして運命の翌朝・・・。

ゴンゴンゴンゴンゴンゴンゴン!!!

御手洗「んおお、うっせえなあ、朝っぱらからなんだよ。」
ガチャツ

ヒートバン1「ヒートバン連合部隊ダ。サア、コッチニコイ！」

御手洗「いきなりなんだよ、意味わかんねえよ！」

ヒートバン2「オ前ハ世界代表ナンダゾ！コイ！」

御手洗「うっせえ！そんなのに興味はないんだ俺は！だから・・・」

ドスツ

御手洗「ゴフウツ！?!?!バタツ・・・」

ヒートバン1「ヨシ、連レテ行クゾ！」

御手洗はヒザ蹴りされて意識を失い、そして誘拐された・・・。

そして、御手洗が意識を取り戻したのは14時間後であった・・・。

御手洗「う・・・うう、うう。・・・はっ！？こ、ここはどこだ！？」

ヒートバン3「ココハサンライト宇宙船ダ。今回ノ計画ノタメニ作ツタノダ！」

御手洗「計画？何の話だ！？」

ヒートバン3「アトデ説明スル。」

「3、2、1、」

ヒートバン「ソロソロダ。」

御手洗「なにがだ！」

ゴオオオオオオッ！

御手洗「うおおおおっ！なんだこの圧力は・・・！」

ヒートバン2「宇宙船ダカラナア」

ヒートバン1「大気圏ヲ抜ケル・・・！」

御手洗「うがあああああああ・・・！！！」

御手洗はあまりの圧力に吐きそうになった。そして吐いた。

御手洗「おええええっ！」

ヒートバン4「ゲロガ降ッテクルッ！」

ドバアッ

ヒートバン3&4「ギャアアア！汚ネッ！！！」

ヒートバン1「者共！騒グナ！」

御手洗「・・・、おい、教えろよ・・・、目的ッツウの・・・。」

ヒートバン1「太陽ニ近ヅイタラ教エヨウ。」

御手洗「・・・。」

ヒートバン2「秒速30万キロデイクマス？」

ヒートバン1「ヨシ、ソレデイクウ。太陽ニ8ビヨウデツクワ！！！」

ヒートバン2「ンジャ、ポチットナ。」

ズゴオオオオオオオオオ

御手洗「うううっ・・・！！！！！」

ヒートバン1「ヨシツイタ！」

御手洗「ああ、死ぬかと思った・・・。てかもう着いたの・・・？

んじゃあ約束通り教えろ・・・。」

ヒートバン1「手をパーにしろ。」

御手洗「はい。」

御手洗「・・・なにこれ？」

ヒートバン1「超小型惑星破壊弾ダ。威力ハ広島ニ落トサレタ原爆

ノ威力ノ8800兆倍だ。」

御手洗「8800兆倍・・・！？まさかとは思うが、これを太陽に

投げろと・・・？」

ヒートバン1「ソウサ。」

御手洗「！？！？！？な・・・なぜだ！？そんなことしたら太陽系が・

・・・！」

ヒートバン「太陽系ゴト消セバスツキリスルダロ？ソレニ地球モ悲

鳴ヲ上ゲテルシ。」

御手洗「そんなことして何のためになるんだよ！」

ヒートバン1「人間ヲ地球ヲイジメテル。消セバミンナ楽ダロ？」

ヒートバン1「モシコレヲ行ツタラオマエハ「英雄」とトシテ讃エラレルノサ。」

御手洗「は？英雄？ふざけるな！なにが英雄だ！」

ヒートバン1「オ前ハ地球ヲ救ウコトニナル、イワバ「ヒーロー」サ。」

御手洗「逆だ！地球が崩壊する⇨地球がなくなるってことやねえか！こんなので「救った」とでも言えんのか！」

ヒートバン1「ソウスレバ地球ハ楽ニナルダロ？人類モ排除デキテ一石二鳥ダナ。」

ヒートバン2「サア、ハヨオトセ。サモナクバ、オ前ゴト落トシテ我ラガ英雄ニナル。」

御手洗「英雄だかなんだか知らんが、俺はそんなことせんぞ！」

ヒートバン1「右ヲ見ロ、カメラガアルダロウ。」

御手洗「それがどうした。」

ヒートバン1「アノカメラノ向コウ側ハ地球ノ人間共ガ見守ツテルゾ。」

御手洗「な・・・！？みんなが見守ってる・・・？」

ヒートバン1「サア落トセ。落トセエエ！」

御手洗「ここで落としたらみんなの信頼を失う。といって投げなかったら俺が消える。」

ヒートバン1「消エル運命ハ変ワランワ！！！」

御手洗「・・・、みんな、ごめんな。」

ストツ

ヒートバン1「我ノ野望ハ叶ツタワア！！ガハハハハ！」

御手洗「・・・！？」

ゴゴゴゴゴゴゴゴ・・・

御手洗「神よ仏よ人類よ、我の行為を許したまえ・・・！」

ズゴオオオオオオオオオ!

計画はヒートバン連合部隊の思惑どおりに行き、地球も見事に侵食された。

その爆発は海王星、さらには冥王星まで届いた。

その爆発の様子は遠くの星からも見えたそうだ。

こうして御手洗は霊となり、「故御手洗」となった。

故御手洗「う・・・うゝん・・・ん?はっ!?!」

ゼウス「ようこそ、ゼウス殿へ。あなたの言う「あの世」でございます。」

故御手洗「!?!?あ・・・あの世?!!?俺はもう逝ってしまったのか!?!」

ゼウス「自分が死んだ事実を認めたくないと言っても言うのかね?それなら真実の鏡で自分の姿を確認せよ。」

ゼウスは鏡を故御手洗に渡し、故御手洗は鏡をのぞきこむ。

故御手洗「あ・・・ああ・・・、白・・・、ああああああゝ」

故御手洗はムンクの叫びのように驚く。

ゼウス「これで認めるだろう。認めたなら話が早い。「罰を下す。」」

故御手洗「あ?どういうこと?」

ゼウス「お前に対する「罰」は「多くの生命」「多くの惑星」を消

滅させた「罰」だ！」

故御手洗「僕はあのとき、ヒートバン連合部隊のやつらに責められて、やるしかなかった状況だったんです！やるのは嫌だったんです！」

ゼウス「・・・、お前にチャンスを与えよう。」

故御手洗「チャンス・・・？」

ゼウス「お前が10分以内に「時神」及び「空間神」を探せ。そして「時」「物体（空間）」を元通りにするよう、自ら頼め。10分より1秒でもオーバーしていた場合、罰を下す。」

故御手洗「わかりました！んで、居場所は・・・？」

ゼウス「自分の力でやれ。」

故御手洗「・・・！？・・・、わかりました。探してきます！」

故御手洗は走り、急いで探した。

故御手洗「はあ・・・、はあ・・・。」

故御手洗「「時の神」と「空間の神」はどこにいるんだ！」

故ヒートバン1「自分が壊シタ未来ヲ取り戻ス気力！」

故御手洗「うるさい、どけ！」

故ヒートバン「ソウハサセン！」

故普通人1「25「俺たちが、止める！」

故ヒートバン1「放せ、放せえええ！」

故普通人1「さあ、はやく！」

故御手洗「でも、肝心な時と空間の神が・・・」

故普通人「その神なら「時の間」「空間の間」にそれぞれいるから、はやく！」

故御手洗「わかった！」

故御手洗は時の間の方へ向かう。（理由は不明だが、故御手洗は「時の間」の場所だけ唯一知っていた）

故御手洗「どんだけ時間がかかるんだ！　いったいどこに……。」「
天使「こんにちわ。何をお急ぎなのですか？」

故御手洗「時の間を探してるんだ！　どこまでいったらつくんだよ！
！」

天使「それなら2分ほどいったらつきます！」

故御手洗「すぐやん！　ありがとう！」

故御手洗は急ぐ。そして……。

「時の間」

故御手洗「ついについたか、「時の間」。
ギイイイ……」

故御手洗「ごめんください……。時の神はどこに……。」

時神「わしが時神だ。「の」は必要ない。何しに来た。」

故御手洗「時を2009年12月30日に戻してください。」

時神「何のためにだ。」

故御手洗「僕の手で地球が滅んでしまったのです。反省はしております。お願いします。時を戻し、我々全生物を生き返らせてください！」

時神「うぬう、しかしなあ……。」

故御手洗「お願いします！」

時神「……、しょうがない。今回限りだ。空間神とも話して復活させよう。」

故御手洗「ありがとうございます！」

時神「クウカンジン、ジツハ……トワケガアツテコトデ2009年12月30日ニモドセト。」

空間神「ショウチシタ。」

故御手洗「あと、あの「ヒートバン連合部隊」やらに所属している人間共は排除してください！」

時神「承知致す！」

時神&空間神「フアアアアア・・・ハアアッ！」

故御手洗「うおおお、時間が戻って行って、みんなも戻っていく・・・！お・・・？俺もなんか光出した・・・！」

なんと、2人の神の力によって時と空間が戻っていくのだ！

全生物の魂も戻っていく・・・！御手洗の魂も・・・！

ゼウス「どうやら条件を果たしたようだな。よし、あとはあの連合部隊共か・・・。」

唯一戻されなかったヒートバン連合部隊に所属していた人間は処罰された。

そして・・・

シュンッ

御手洗「お・・・お・・・！！俺達、戻ったんだ・・・？俺達、元の場所、元の時間に戻ったんだ！」

御手洗は喜んだ。まるでゲームを買ってもらった子供かのように・・・。

平和は取り戻された。自分の罪を自分で償い、そして自ら元の時間、場所を取り戻した御手洗。

こうして御手洗は本当の「英雄」となった。

御手洗は久しぶりに見るまぶしい夕日に手をかざした。

英雄伝
「完」

（後書き）

この小説は今年中学校で公開したものです。「賛否両論」の多かった作品でした。

読まれた方はずいぶん感想を下さい。お願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4526f/>

英雄伝

2010年10月28日04時17分発行